

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.2.25 No.221 連絡先 FAX 042-555-1911



福生市内で「オスプレイ飛来・訓練」反対 2.22緊急集会

2月12日、南関東防衛局より2月23日(月)から28日(土)、米海兵隊MV-22オスプレイ2機が東富士演習場及び北富士演習場において離発着訓練を実施する可能性があるという関係自治体に情報がありました。オスプレイに反対する横田基地問題を考える会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地もいらない市民交流集会実行委員会、横田・基地被害をなくす会、第9次横田基地公害訴訟原告団、第2次新横田基地公害訴訟原告団は2月22日、緊急集会を開催



しました。「東富士へのオスプレイ飛来・配備・訓練に反対する御殿場・裾野・小山の住民の会」と「静岡県平和委員会」より連帯のメッセージがよせられました。

オスプレイ 3月6日、7日も 富士演習場で離発着訓練

2月23日(月)から28日(土)
14:00から21:30まで離発着訓練

3月6日(金)、7日(土)
07:00から22:00まで離発着訓練



さらに19日に、3月6日(金)、7日(土)の離発着訓練の情報がありました。(時間帯は「東富士演習場週間使用計画」に記載。)とくに、「3月6日、7日は、

東富士演習場を使用できる時間帯まるまる使う計画です。これは、いつでも訓練でき、いつでも中止できる勝手極まりない『ずさんな計画』です。」と住民の会の方は言います。

富士演習場で離発着訓練する時は、横田基地か厚木基地に飛来しますが、その情報は、まだありません。危険なオスプレイ、飛来・配備・訓練にトコトン反対します。



「止めよう辺野古新基地建設」沖縄県民集会

22日、辺野古新基地建設を「止めよう 国の横暴・工事強行に抗議する県民集会」が辺野古の米海兵隊基地ゲート前で開かれました。「辺野古の海を守ろう」「埋め立ては許さぬ、辺野古の海はみんなの宝もの」「オスプレイも基地もいらない」など、プラカードや横断幕が林立しました。(写真:沖縄県統一連ニュース)

米大統領が 次期在日米軍司令官にドーラン空軍少将を指名 (No. 221 裏面)

米国防総省は 2 月 18 日、オバマ大統領が在日米軍司令部（東京・横田基地）のサルヴァトーレ・アンジェレラ司令官（空軍中将）の後任に、ジョン・ドーラン太平洋軍参謀長（空軍少将）を指名したと発表しました。ドーラン氏は中將に昇進、上院の承認を経て正式に就任します。議会承認されれば、現司令官のアンジェレラ中將は退役する模様です。

米太平洋空軍司令官、カーライル空軍大将からロビンソン空軍大将に



米空軍は 2014 年 10 月 16 日、ハワイのパールハーバー・ヒッカム統合基地で、米太平洋空軍（PACAF）の司令官交代式を行い、ホーク・カーライル空軍大将に代わり、新たに女性のローリ・ロビンソン空軍大将（左写真）が就任しました。

米太平洋空軍のカヴァー範囲は、米国の西海岸からアフリカの東海岸まで、そして北極地域から南極地域までの、実に 1 億平方マイル（約 1 億 6,000 万平方 km）以上にも及ぶ。米太平洋空軍の司令官に女性が就任するのは初、また米空軍全体の主要軍団の司令官に女性が就任するのもまた、初めてのこと。ロビンソン空軍大将はこれまで航空戦闘軍団の副司令官を務めていました。なお、カーライル空軍大将は航空戦闘軍団の司令官になります。

前米太平洋空軍司令官のカーライル空軍大将は、2013 年にも 2014 年にも、CV22 オスプレイの横田配備に言及していました。（写真：米太平洋空軍司令官 横田基地来訪 26.10.23 航空総隊 H P）

2月11日～2月27日 グアムで日米豪共同演習（COPE NORTH 15）

米空・海軍は約 1, 300 名、航空自衛隊は約 430 名、オーストラリア空軍は約 240 名の参加。人道支援、災害救援訓練には、今回初参加のニュージーランド空軍と韓国空軍も参加。

（日米豪人道支援・災害救援共同訓練 2月15日～2月18日）

実施場所は、アメリカ合衆国グアム島アンダーセン空軍基地、北マリアナ諸島サイパン島、テニアン島、ロタ島及びファラロン・デ・メディニラ空対地射場並びに同周辺空域。

自衛隊の訓練参加部隊は、(ア) 航空総隊 第 8 航空団（築城）、第 6 航空団（小松）、航空救難団（入間）、警戒航空隊（三沢）、(イ) 航空支援集団 第 1 輸送航空隊（小牧）。

人員は、a 航空総隊 359 名、b 航空支援集団 101 名

（日米豪人道支援・災害救援共同訓練に参加する 64 名を含む。）

航空機は、a 航空総隊：F-2A×8機、F-15J/DJ×6機、U-125A×1機及び E-2C×2機、b 航空支援集団：C-130H×2機及び KC-767×2機

（日米豪人道支援・災害救援共同訓練に参加する C-130H×2機を含む。）



訓練項目は、(1) グアムにおける日米豪共同訓練：防空戦闘訓練、えん護戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、空対地射爆撃訓練、電子戦訓練、空中給油訓練、戦術空輸訓練、ク 搜索訓練 (2) 日米豪人道支援・災害救援共同訓練：航空輸送訓練、物料投下訓練、不整地離着陸訓練、搜索訓練、航空患者搬送訓練

（米空軍飛行士が横田基地の C-130 にコンテナを積む。米軍 H P）